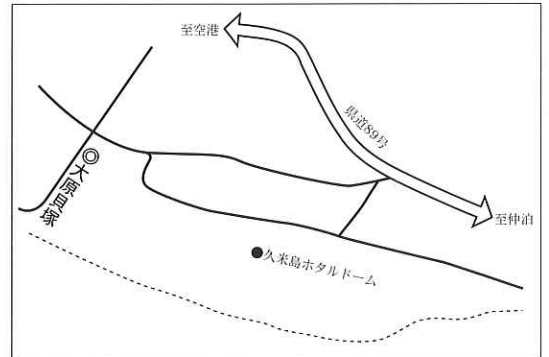




大原貝塚

指定名称 おおはらかいづか 大原貝塚（県指定史跡）
所在地 久米島町字 大原清水原1424-1
指定年月日 昭和31年10月19日
所有者 久米島町



久米島町字大原の海岸砂丘に立地した沖縄貝塚時代前・中・後期時代の複合遺跡である。本貝塚は広範囲に分布していて、時期及びその内容から3地点に分けられる。第1地点は伊波式土器、荻堂式土器、大山式土器などが出土する3,500年前～2,500年前（前期）の貝塚で県の指定を受けている。

第2地点は指定地の西側一帯で、前・中期の貝塚である。出土品には約2,500年前～約2,100年前（中期）の土器を主体に、ゴホウラ製貝輪、スイジ

ガイ製利器などの貝製品、石斧、石皿、磨石等がある。包含層からは人骨が多く出土しているが、人骨が散在した状態であることが注目された。第3地点は指定地の西方にあり、大原第2貝塚とも称される約2,000年前から12世紀頃（後期）の貝塚である。